

学習院大学通信

COMPASS

第48号

2011.1.11

◆編集発行◆
学習院大学学生センター学生課
東京都豊島区目白 1-5-1

CONTENTS

- 1-第61回四大学運動競技大会
平成22年度「学生の提言」受賞者について
- 2-「学生の提言」優秀賞受賞作品紹介
- 6-学長表彰
- 7-平成23年度学年暦
- 8-平成22年度学年末試験について
- 9-各部署からのお知らせ
- 14-保健センターだより
- 15-図書館だより
- 16-卒業式・入学式日程
課外活動レポート（学習院大学新聞社）
学生相談室のご案内

第61回四大学運動競技大会「全種目完全優勝」達成!!

10月15日から17日まで、学習院大学において、第61回四大学運動競技大会が開催されました。今年度は、正式種目・一般種目共に第1位の成績をおさめ、総合優勝をはたすことができました。通算50勝目となります。また、教職員種目においても優勝、第56回大会以来、5年ぶりの「全種目完全優勝」の快挙を成し遂げました。

第61回 四大学運動競技大会得点表

	学習院	成 蹊	武 蔵	成 城
総 合 得 点 (順 位)	165.0 (1位)	129.5 (2位)	110.5 (3位)	110.5 (3位)
正 式 種 目 (順 位)	110.5 (1位)	91.0 (2位)	67.0 (4位)	70.0 (3位)
一 般 種 目 (順 位)	54.5 (1位)	38.5 (4位)	43.5 (2位)	40.5 (3位)
教 職 員 種 目 (順 位)	9.0 (1位)	8.0 (2位)	7.0 (3位)	6.0 (4位)

※ 教職員種目の得点は総合得点に含まれません。



平成 22 年度「学生の提言」受賞者について

——— 優秀賞 法学部政治学科 3 年 久米 祐太郎さん ほかに佳作 3 点

本年度の「学生の提言」は、「大学教育とキャリア形成」というテーマで募集を行ったところ、8 点の応募がありました。応募のあった論文について、学長、学生センター所長、学生委員によって厳正な審査が行われ、優秀賞 1 作品、佳作 3 作品が下記のとおり決定しました。受賞者には、学長から賞状、ならびに学生センター所長から副賞が授与されました。



学長、学生センター所長と受賞者の方々

受 賞 者 (敬称略)

1. 優 秀 賞
法学部政治学科 3 年 久米 祐太郎
2. 佳 作
法学部政治学科 4 年 赤羽 郁也
法学部政治学科 4 年 佐藤 龍介
経済学部経済学科 1 年 田中 昌太

『大学教育とキャリア形成』

法学部政治学科 3年 久米祐太郎

1. はじめに

近年、日本の若者を取り巻く状況は変化してきている。不況で家庭の所得が少ないため、大学へ継続して通うことができなかったり、卒業しても就職先が見つからなかったりするような状況が起こりつつある。また、就職に成功しても数年で辞職してしまう場合も多々ある。私たち学生は、このような状況の中で自らの就職や生活を充実させる努力をしなければならない。そのためには、自らが努力することも重要だが、それと同様に家庭や大学などのコミュニティによる手助けも必要である。

それでは、各コミュニティ、とくに大学はどのようなことを大学生に対して行う必要があるのだろうか。ここでは特に私立大学に焦点を絞って議論を進めていきたいと思う。その理由は、私立大学は国公立大学と比べ圧倒的に数が多く、かつ学生の数も多いからである。また、国公立大学や都心の有名私立大学のように比較的安定した財源があったうえでの支出削減とは異なり、地方にある大学や比較的新しい大学は安定した財源を持っていないことが多い。その

ため、それらの大学についても考えることで現在の状況を全体的に底上げすることができるのではないかと考えたのも一つの理由である。私は一人の学生の立場として、大学は大学生のキャリア形成についてどのようなことを行えばよいのかを提言したいと思う。

以下、本稿での概略を述べておく。2では、大学生の「キャリア」形成と就職活動の現状について、「キャリア」の意味を示しながら概観する。3では、キャリア教育を行う大学の現状について、財政的な面から分析する。その上で、大学生に対する具体的なキャリア形成の施策について、立命館大学と法政大学を例にとり紹介する。また、学習院大学をはじめとして様々な大学で導入がされている卒業延期制度について説明する。4では、それらを踏まえたうえで大学が行うべき施策を3種類示す。それらは決して多額の資金を要するものではなく、大学教育の中でも必要なものである。これらを述べた後、5では今回の提言を通したまとめにつなげていこうと思う。

2. 大学生のキャリア形成と就職活動の現状

2-1. キャリアとは？

就職活動を行うようになると、「キャリア形成」や「キャリア」といった言葉がよく出てくる。ではそもそもキャリアとは一体何であろうか。この「キャリア」の意味について知らなければ議論をすることができない。そこで、ここでは「キャリア」という言葉はどのような意味を持っているのかを示すこととする。

そもそも「キャリア」という言葉にはどのような意味があるのだろうか。広辞苑¹には、「キャリア (career): ①(職業・生涯の) 経歴。②専門的技能を要する職業についていること。③国家公務員試験一種(上級甲) 合格者で、本庁に採用されているものの俗称」と書かれている。ただ、様々な書籍をみる限り、実際の議論においては、「キャリア」という言葉は様々な論者によって様々な意味に捉えられており、一貫した意味というものはないようである。

では、このような「キャリア」という言葉が使用され始めたのはいつからであろうか。「キャリア」という言葉は、国が行うべき施策の中の言葉としてはじめて1999年中央教育審議会が発表した「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」の中で使用された。ここでは、キャリアについて以下のように述べられている。「学校と社会及び学校間の円滑な接続を図るためのキャリア教育(望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の犠牲を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育)を小学校段階から発達段階に応じて実施する必要がある」(中央教育審議会、第6章第1節)と述べられ、小学校の段階からこのような目的を持った教育を施すべきだとしている。

また、2004年に文部科学省設置の「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議」が出した報告書によると、「キャリア」とは「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖およびその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」のことであるという。その上で「キャリア教育」を、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」と定義している。²

このように、「キャリア」とは働くということに対して主体的に何かしらの行動しようとする意思とそれに付随するスキルであるということができよう。これが小学生や中・高校生への教育として正しいかどうかという議論は別にあるだろうが、少なくともこれから就職を迎えようとする大学生に対して大学がどのようなキャリア教育を施すべきかといった議論をする場合、この定義が当てはまるだろう。以下では、このような定義づけで議論を進めていきたいと思う。

2-2. 学校基本調査から——日本の大学生の様態

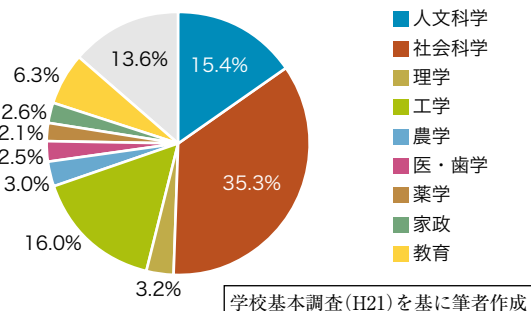
ここでは、大学生を取り巻く生活状況についてみていく。大学生のキャリア形成ということを考えたときに、大学生の現在の状況を知ることとはとても大切である。そもそも現在の日本に大学生は何人いて、どのような学部は何人の学生が分布しているのだろうか。また、毎年何人が入学してくるのか。毎年の入学者数のほとんどが労働市場に加入することを考えると、これは大事な数字である。

ではまず、現在の日本にはどのくらいの大学生がいるの

だろうか。2010 年度に文部科学省が行った学校基本調査によると、平成 21 年度の時点で国立大学に 62 万 1800 人、公立大学に 13 万 6913 人、私立大学に 208 万 7195 人の学生が在学している。入学状況を見ると、平成 21 年度の大学入学者は計 60 万 8731 人（国立大学 10 万 1847 人、公立大学 2 万 8414 人、私立大学 47 万 8470 人）である。彼らの進路は様々であるが、毎年だいたいこれくらいの人数が労働市場に参加するのである。

学問の構成比別でみると、社会科学系が 35.3%、工学系が 16.0%、人文科学系が 15.4%と、社会科学系の学部に属している学生が多いことがわかる。

〈図表1〉学科・専攻分野別大学生の比率（H21年度）

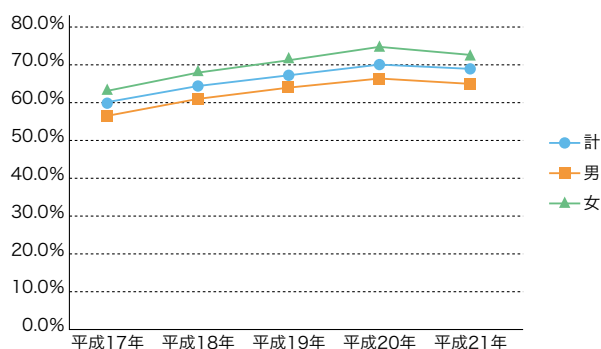


また、教員数もみてみると、平成 21 年度で 17 万 2039 人である（国立 6 万 1246 人、公立 1 万 2402 人、私立 9 万 8391 人）。学部の性質の違いや大学の違いも関係するが、これらの数字を用いて教員一人当たりの生徒数を算出すると教員一人当たり 3.5 人の大学生を受け持つ計算になる。教員数も大学生数の増加に伴い増加しており、大学という機関が研究者養成のための機関から、社会人になるまでのうちの一つのステップに移行しつつあるということを示している。

2-3. 大学生の就職率

では、大学生の就職率はどのようにになっているのか。2010 年度 5 月に発表された文部科学省の大学等卒業予定者の就職内定状況調査によると、2010 年度 3 月に大学を卒業し就職した大学生の就職率は 68.4%（男子 64.6%、女子 73.4%）である。過去 5 年間で最低の就職率は平成 17 年度の 59.7%（男子 56.6%、女子 64.1%）であり、過去 5 年間で比べた就職率の推移は以下の図表のようになっている。

〈図表2〉大学生の就職率の推移³



この就職率は国公立・私立大学の大学生をすべて含めた場合の就職率である。5 年の推移でみた場合、平成 21 年度の就職率は平成 17 年度の値と比べそれほど低くないように見える。だが、学部を卒業したばかりの新卒者を採用して自らの会社に合うように育て上げる育成型の性質をもつ日本の労働市場をみると、3 割の大学生は新卒として扱われず、中途採用として扱われることとなる。つまり彼らは、何らかの特別なスキルを持っていない限り企業内で成功を取めることは難しいのではないかと考えることができる。

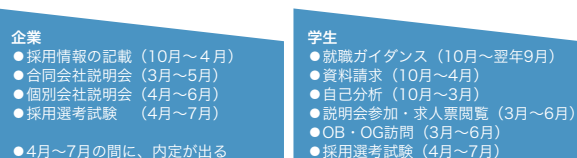
2-4. 日本の大学生の就職活動

それでは、日本の大学生はどのような就職活動を行っているのだろうか。ここでは一般的とされる就職活動の様子を説明する。

労働政策研究・研修機構の「大学生のキャリア展望と就職活動に関する実態調査」では、就職支援サイトに登録した時期は 3 年生の 10 月がもっとも多かった。この時期から本格的に就職活動を意識し始めるのだと思われる。また、エントリーシートを提出する時期は、3 年生の 2 月がもっとも多い結果となっている。大学の偏差値や有名さに関係なく、一般的に 3 年の 10 月ごろから就職活動を始め、自分が行きたいと思った企業から内定をもらうことができるようになるまで就職活動を続けるようである。また、大学のキャリアセンターなどが主催する就職活動のガイダンスなども、就職支援サイトに登録する時期と同じく 9 月から 10 月あたりがもっとも参加者数の伸びが大きくなっている。

では、一般的な大学生の就職活動とは具体的にどのようなものなのだろうか。一般的と思われる就職活動のスケジュールを見てみよう。まず、3 年次の 10 月から次年度の 4 月にかけて就職情報誌やインターネット上で採用情報が掲載される。各大学生は、就職情報サイトに登録して自らの進みたい職種の採用情報が出てくるのを待つ。その間ただ待つだけではなく、大学で開催される就職ガイダンスや自己分析などの就職対策を行う大学生が多いようである。3 年次の 3 月から 4 年次の 4 月・5 月にかけて合同会社説明会が行われ、4 月から 6 月にかけて個別会社説明会が行われる。大学生は、3 年次の 3 月あたりから求人票を閲覧したり、OB・OG 訪問を行ったり、採用選考試験を受けたりする。このあたりで就職活動は本格化し、5 月から 7 月にかけて内定をもらう、といったスケジュールが一般的であるようだ。もちろん、所属している大学や各大学生によって選考試験や内定を得る時期は異なるだろうが、このような流れで就職活動は行われる。

〈図表3〉就職活動の流れ



『就職活動ワークブック』より、筆者作成

¹ 広辞苑第六版「キャリア」の語を参照

² 中央教育審議会、キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議の内容については、小杉礼子著『若者の働きかた』p110 を参照。

³ 大学等卒業予定者の就職内定状況調査の結果より、筆者作成。

就職活動時には、さまざまなことが要求される。手紙の書き方や電話のかけ方といった社会的なマナーから、自らのアピールポイント、志望する会社を選んだ動機や持っている資格までいろいろである。これらの対策や資格取得について、各大学はセミナーを開催している。たとえば学習院大学は、生涯学習センターで資格試験のための講座を開催しており、学習院大学生がその講座を受ける場合、受講料が一定額割引になるという制度がある。また、就職対策

として、学習院大学のキャリアセンターや卒業生で構成される団体である桜友会が就職支援を行っている。ゼミやサークルなどでも、希望があれば面接対策などを行っているところもある。古くからある大学の場合は、桜友会のようにその大学の卒業生が団体をつくって就職活動をサポートするといった場合もある。だが、地方にある大学や比較的新しい大学などはこのようなりソースを持っていないところが多く、苦戦を強いられている。

3. 大学の取り組み ― 私立大学の現状と大学の施策 ―

2では、大学生の生活状況・就職活動の状況について概観した。3では、大学生の状況ではなく大学の状況について分析していこうと思う。3-1では、私立大学の財政について概観し、現在の私立大学がどのような状況に陥っているかを観察する。次に3-2では、実際に私立大学が行っているキャリア教育のための授業を、立命館大学と法政大学の事例をとって紹介する。最後に3-3では、多くの大学でその制度ができつつある卒業延期制度について検討する。

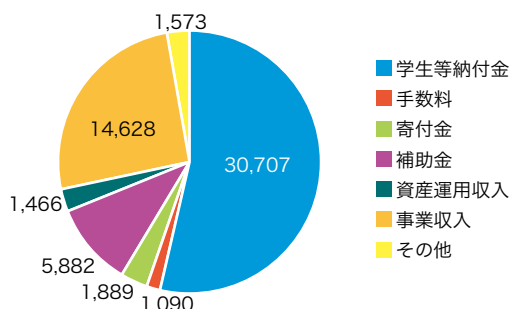
3-1. 私立大学の財政 ― 『今日の私学財政』から―

大学生のキャリア形成に際して、重要となるのは大学の財政である。どんなにすばらしい提案を出されても、実際にそれを実行に移すことができれば意味がない。そこで、ここでは私立大学の財政について見ていく。ここで私立大学の財政事情をみる理由は、現在私立大学が一般的にどのような状況に陥っているのかを知ることでその状況の範囲内でできることを探るためである。

ここで、『今日の私学財政』という資料を参考にする。『今日の私学財政』とは、全国の私立学校の財政や経営の状況を把握するための資料である。全国541（平成20年度）の私立大学から財政に関するデータを集め、それらを基にして現在の私立大学の運営に共通する傾向や問題点を探っている。以下では、このデータブックに記載されている分析を基にして、私立大学の財政事情を分析していく。

私立大学の大学数は、平成元年と比べて191法人増加している。私立大学の増加がかなりのものであることをうかがうことができる。また、平成20年度の収入の内訳は下の円グラフのようになっている。このグラフをみると、私立大学の主な収入源は学生からの納付金であり、しかもそれが50%以上を占めていることが分かる。平成20年度で見ると、納付金が54%、事業収入が26%となっており、国からの補助金が10%と続いている。つまり、学生を集めなければ運営が成り立たなくなってしまうため、私立大学は学生を集めるのに必死になるのである。

〈図表4〉平成20年度私立大学収入内訳 単位：億円



また、私立大学の財政の特徴として、『今日の私学財政』では以下のポイントが述べられている。

①借入金等は横ばい

負債総額についても、法人数の増加に伴いやや増加しているが、借入金等は横ばいで推移している。平成元年から約1兆円とほぼ変わらない。

②預金等資産は減少

預金等資産に対し、退職給与引当金など、要積立額を比較すると、10年度までは預金等資産は十分であったが、20年度では一挙に18,508億円が不足し、積立額は十分でない状態である。

〈図表5〉預金等資産と要積立額

単位：億円	平成元年	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年
預金等資産	25152	35145	48940	59659	64018
要積立額	18724	26724	39509	54443	68703
不足額（一は余剰）	-6428	-8421	-9431	-5216	4685

③奨学金・委託費の増加

学生の確保、経済的進学支援等の理由により、奨学金が増加し、人件費抑制のために業務を外部委託するなど委託費を増加させている要因と推察されるが、そのことによる学生生徒等納付金の雄図化、人件費の減少は明らかではない。

〈図表6〉奨学金と委託費（総額）⁴

単位：億円	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年
奨学金	113	174	377	549
委託費	344	553	870	1318
教育研究・管理経費	3384	4563	5814	7413
奨学金（割合）	3.3%	3.8%	6.5%	7.4%
委託費（割合）	10.2%	12.1%	15.0%	17.8%

3-2. 大学生に対するキャリア形成のための施策

では、各大学は大学生に対してどのようなキャリア形成のための施策を行っているのだろうか。ここでは、1999年に就職部からキャリアセンターへいち早く名称変更した立命館大学と、キャリアデザイン学部という学部を持っている法政大学を例にとって具体的な施策を概観する。

⁴ 図表4・5・6は、『今日の私学財政』を参照。図表4はp10、図表5はp13、図表6はp29のデータを基にした。また、①・②、③のポイントも、それぞれp12、p28のポイントを引用した。

①立命館大学の事例

立命館大学は、他の大学と比べていち早く大学生へのキャリア教育に乗り出した大学である。この大学では、キャリアセンターと学部との連携によってキャリア教育を行っている。この事例として、産業社会学部で2003年度の後期から開催された「キャリア探偵団」がある。この主な内容は、「OBを訪問し、その仕事を映像化する」といったものである。そしてその狙いは、「入学後早期の段階から仕事を体感させ、さまざまな業種・職種の理解を促すとともに、自己の個性や職業適性について考えさせ、将来を考えた大学での学びのモチベーションづくりや自立的な進路選択の一助とする」ことである。この講義ではキャリアセンターの職員が担当したが、これとは別に正規の授業として承諾を得る必要があった。そのため、キャリアセンターは大学生のキャリア教育に対して関心を持っている教員に講義の担当教員を任せ、その後で学部教授会や全学の教学機関の承認を得ることでこの課題を解決した。

②法政大学の事例

法政大学のキャリアデザイン学部は2003年に設立された。この学部では、その設立当初から専門教員が担当する少人数演習型の「基礎ゼミ」を設けている。ここでは、大学での学習に必要な文献検索の方法やレポートの書き方、プレゼンテーションの方法などを学ぶ。この講義は当初選択方式であり、必修ではなかったが、キャリアデザイン学部はこの授業を2007年度に必修授業へ変更した。法政大学では3年次からゼミが始まる。それまでの間に論理的に物事を考える力や文章の書き方を身に付けることがあまりできなかった。2007年まで「基礎ゼミ」は選択講義だったため、選ばない学生が半分近く存在した。だが、従来必修型の授業であった「入門ゼミ」（学部の学びに導くことをねらいとしたもの）と選択型の「基礎ゼミ」を統合させることにより、キャリアデザイン学部のすべての学生に学生生活に必要な

スキルを教えることに成功した。

これらの事例のように、キャリア教育のための講義を一般の大学の講義に組み込むことは十分可能なのではないかと考えられる。

3-3. 卒業延期制度について

2-3でみてきたように、現在の大学生の就職率は6〜7割の間を行き来している状況である。この背景には、平成20年度からの経済不況やそれに伴う雇用状況の悪化など、長期にわたる不況がある。この状況に対応すべく、多くの大学では卒業延期制度という制度を採用している。ここでは、その卒業延期制度について、学習院大学を例にとって述べたいと思う。

学習院大学での卒業延期制度は、以下のような制度である。「就職活動や国家試験及び資格取得のため、引き続き在学を希望する学生に1年間に限り在籍を認める制度」である。この制度の利用者は、納付金として在籍料12万円、維持費、父母会費、輔仁会費、新聞費、学会費を納めることで卒業を1年間だけ延長できる。ただし、申請には以下の4つの条件が必要である。

- ①本学学則に規定している卒業要件を満たしていること
- ②引き続き在籍することにより、学則に規定されている在学年数を超えないこと
- ③学則で規定する授業料等納付金を申請時まで納めていること
- ④本制度の申請が在学中の1回のみであること

これらの条件を満たした者は、卒業を1年間だけ延期することができる。この延期制度には、前述のような経済的な問題もある。だが、学部を卒業したばかりの新規卒業者の雇用を重視する労働市場の性質や、中途採用は新卒採用ほど重視しない企業の問題も隠れている。⁵

4. 提言

以上のことを踏まえて、私は以下の3つの案を提言したいと思う。

1. ディスカッションやプレゼンテーションを含めた、教授と学生、または学生同士で議論をするタイプの少人数演習型講義

現代の大学生は積極的に行動することができない、とよくいわれる。それは社会的な通念だけではなく実際の学生生活においてもそうであると私は感じるし、私自身もその傾向があると思っている。就職にあたって、積極的であることはひとつのアピールポイントとなるだけでなく、ビジネスチャンスをつかみやすくなるという利点もある。また、仕事に必要なスキルを身に付けるためにも、ディスカッションやプレゼンテーションなど、普段会社内で訓練が必要だと考えられることを行い自らのスキルを高めることが必要である。初年次教育の一環としてこのような授業を取り入れている大学は法政大学をはじめ多くある。各学年必修でこれをとるようにすることで自ら意見を言いやすくなるような環境ができると考えられる。

2. 講義に対する理解を図るという意味で、講義の内容に関する資格試験（簿記・TOEICなど）を成績評価のうちの1つの指標として扱う

大学は研究者が多く集まる教育機関である。大学で扱う内容は、したがって高校までで学習したような内容について深く掘り下げるような内容である。だが、簿記やコンピュータ、英語をはじめとする語学など、仕事をする上で持っておくべきもの（あるいはあったほうがよいもの）はどの学部の出身でも身に付けておくべきスキルである。また、このような資格の取得を目指して講義以外の時間を資格取得のための勉強に充てている人も多い。資格取得もキャリアアップの一部であると考えられるが、その資格取得を成績評価のうちの1つの指標として扱うことで授業とキャリア形成を一体化させることができ、大学生のキャリアアップにつながるのではないかと私は考える。ただし、資格取得だけで単位取得の要件としないような配慮が必要である。

⁵ 学習院大学の卒業延期制度については、学習院大学新聞第239号（2010年9月16日発行）を参照して記述した。

3. 地元の企業との情報交換会のような、仕事の雰囲気を感じながら学ぶ場を作る

これは、特に地方にある比較的新しい大学にとって有益である。地元の企業とその大学とのパイプを作ることによって、その大学の地元における知名度を上げることが目的である。もちろん、都心部にある大手に就職するというこ

も必要だが、地理的な面や情報の量の面で都心部の大学と比べると地方の大学は不利である。まず地元で基盤を固めてから、就職の力を蓄えることが必要である。そのため私は、地元の企業との交流会を開催し定期的に情報を交換することでその地元に対する大学のアドバンテージをつくること

5. 終わりに

4では、いままでの議論を基にして大学生のキャリア教育に関する3つの施策を提示した。今回私が述べた議論は、大学のレベルや地域によってさらに細分化することが可能である。大学や地域によって最も効果が高い施策は異なるだろうが、私立大学全体としての傾向を踏まえたうえでの施策を打ち出すことが出来た。大学生へのキャリア教育という問題は、ほかに学生自身の気持ちや様々な制度にもあ

る程度関係があるため、この施策を行えば解決する、という類のものを出すのは難しい。だが、大学がこれらの施策を積極的に行えば、現状よりも良い状態を作り出せるのではないかと私は考える。今回の提言が、大学や企業、そして学生自身がこの問題について主体的に考える良い機会になることができればと思っている。

◆◆「学生の提言」受賞コメント◆◆



法学部政治学科 3年 久米 祐太郎

キャリアって何だろう。今回の学生の提言に取り組む際、真っ先に浮かんだ疑問です。身近でいてかつ多様性・曖昧さのあるこの言葉をどう扱うか。それが提言を書く上での私自身の課題になりました。ですがこの部分で試行錯誤をした分、キャリアについての私自身の考えがさらに深まったように思います。

今回は、「大学教育とキャリア形成」というテーマでした。この提言に取り組む中で、キャリア形成について考えなければならないのは大学だけでなく、私たち学生もまたそうなのではないかということを変えて実感しました。

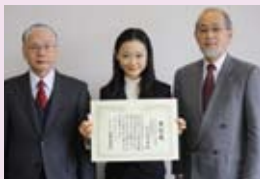
今回このような貴重な賞を頂くことができとても嬉しく思います。また、今回頂いた賞に加え、提言を完成させるまでの過程も今後の私にとって大きな財産になると思います。本当にありがとうございました。

《参考文献・資料》

- 伊藤文男・小玉小百合・川喜多喬著、上西充子編 2007年『大学のキャリア支援—実践事例と省察—』経営書院
- 小杉礼子著 2009年『若者の働きかた』ミネルヴァ書房
- 鶴野充茂著 2007年『イラスト図解! 就職活動ワークブック』日本能率協会マネジメントセンター
- 日本私立学校振興・共済事業団編 2009年『平成21年度版 今日の私学財政 大学・短期大学編』学校経営研究会
- 呂韓編著、成瀬龍夫監訳 2007年『大学財政 世界の経験と中国の選択』東信堂
- OECD 編著、森利枝訳 2009年『日本の大学改革 OECD 高等教育政策レビュー：日本』明石書店

学 長 表 彰

自然研D2 杉石 露佳さん 受賞



◆ 受賞者

自然科学研究科化学専攻
博士後期課程 2年
杉石 露佳さん

◆ 研究内容

プロパルギルアミン化合物は天然物合成や創薬において有用な骨格です。本研究においてはプロパルギルアミンのアミン置換反応についてその一般性を調べ、反応機構の解明に努めました。その結果、プロパルギルアミンの特異的反応性が見出され、その反応機構の仮説に従ったアルキン置換反応という新たな反応を発見することができました。今後研究を続けることにより、本反応の適応拡大およびプロパルギルアミンを用いた新規反応の開発が期待されます。

◆ 表彰式

平成22年11月26日(金)12時より
西5号館6階学長室において表彰状と副賞を授与

◆ 表彰理由

平成22年7月に、台湾・台北で開催された、第24回「有機金属化学国際会議」に参加し、ポスター賞を受賞したため。380件の発表の中から10数件の発表に対しポスター賞が贈られ、杉石さんのポスター発表「Cu(I)-Catalyzed Substitution Reactions of Propargylic Amines」がそのうちの1件に選ばれた。

◆ 受賞コメント

学長表彰を頂き、心より感謝申し上げます。本賞は、以前に私の友人である岡本真実さんが受賞しており、私もこのような名誉ある賞を頂きましたことは大いなる喜びです。私が携わりました研究が結果に繋がるためには、周囲の方々の様々な温かい支えがありました。中村浩之教授および諸先生方のご指導に感謝しつつ、今後のさらなる発展を目指す所存です。

※学長表彰とは

学習院大学に在学する学生で学術研究活動等が学会等において高く評価された者に対して行う（「学習院大学学生表彰規程」）。

平成23年度 学年暦

◆法科大学院

4月1日(金) 春季休業
 4月1日(金) 健康診断
 4月2日(土) 第1学期授業開始
 4月2日(土) 集中講義日
 4月2日(土) } 履修登録期間 (第1学期)
 ~4日(月)
 4月8日(金) 入学式 (学部・大学院・法科大学院合同)
 5月15日(日) 大学開学記念日 (休講)
 5月16日(月) } 履修登録修正期間 (第1学期)
 ~18日(水)
 7月20日(水) } 履修登録取消期間 (第1学期)
 ~21日(木)
 7月21日(木) 第1学期授業終了
 7月22日(金) } 学期末試験
 ~8月4日(木)
 ~8月9日(火) 学期末試験追試験出願期間
 8月5日(金) } 夏季休業
 ~9月15日(木)
 9月1日(木) } 成績表交付
 ~5日(月)
 9月9日(金) } 学期末試験追試験
 ~15日(木)
 9月16日(金) 第2学期授業開始
 9月16日(金) } 履修登録期間 (第2学期)
 ~17日(土)
 10月17日(月) 開院記念日 (休日開講)
 10月18日(火) } 履修登録修正期間 (第2学期)
 ~20日(木)
 10月21日(金) } 四大学運動競技大会
 ~23日(日) [10月21日(金)・22日(土)は開講日]
 11月3日(木) } 大学祭 (準備・後片付け含む)
 ~7日(月) [11月7日(月)は開講日]
 12月25日(日) } 冬季休業
 ~1月7日(土)
 1月17日(火) 補講日
 1月19日(木) } 履修登録取消期間 (第2学期)
 ~20日(金)
 1月20日(金) 第2学期授業終了
 1月21日(土) } 学年末試験
 ~2月3日(金)
 ~2月14日(火) 学年末試験追試験出願期間
 2月4日(土) } 学年末休講
 ~3月31日(土)
 2月22日(水) } 学年末試験追試験
 ~28日(火)
 3月10日(土) 修了者発表
 3月10日(土) } 1・2年生成績表交付
 ~13日(火)
 3月19日(月) } 再試験
 ~23日(金)
 3月20日(火) 卒業式・修了式 (学部・大学院・法科大学院合同)

休日開講
 4月29日(金) (昭和の日) 7月18日(月) (海の日)
 9月19日(月) (敬老の日) 9月23日(金) (秋分の日)
 10月10日(月) (体育の日) 10月17日(月) (開院記念日)
 10月21日(金)・10月22日(土) (四大学運動競技大会)
 11月7日(月) (大学祭後片付け日)
曜日振替で授業を実施する日
 4月4日(月) → 金曜日

◆学部・大学院

4月1日(金) } 春季休業
 ~7日(木)
 4月1日(金) } 健康診断
 ~7日(木)
 4月8日(金) 入学式 (学部・大学院・法科大学院合同)
 4月4日(月) } 新入生履修指導等
 ~9日(土)
 4月11日(月) 第1学期授業開始
 4月11日(月) } 履修登録期間 (学部・大学院)
 ~28日(木)
 5月15日(日) 大学開学記念日 (休講)
 5月16日(月) } 履修登録修正期間
 ~18日(水)
 7月1日(金) } 授業評価実施 (全学)
 ~14日(木)
 7月14日(木) 第1学期授業終了
 7月15日(金) } 補講期間
 ・16日(土)
 7月18日(月) } 学期末試験
 ~30日(土)
 8月1日(月) } 夏季休業
 ~9月15日(木)
 ~8月3日(水) 学期末試験追試験出願期間
 9月1日(木) } 集中講義期間
 ~15日(木)
 9月9日(金) } 学期末試験追試験
 ~15日(木)
 9月16日(金) 第2学期授業開始
 10月17日(月) 開院記念日 (休講)
 10月21日(金) } 四大学運動競技大会 (休講)
 ~23日(日)
 11月3日(木) } 大学祭 (準備・後片付け含む) (休講)
 ~7日(月)
 12月6日(火) } 授業評価実施 (全学)
 ~19日(月)
 12月20日(火) }
 ・21日(水)
 ・22日(木)
 ・24日(土)
 1月17日(火) } 補講期間
 12月20日(火) } 冬季休業
 ~1月7日(土)
 1月16日(月) 第2学期授業終了
 1月18日(水) } 学年末試験
 ~31日(火)
 ~2月3日(金) 学年末試験追試験出願期間
 2月1日(水) } 学年末休講
 ~3月31日(土)
 2月22日(水) } 学年末試験追試験
 ~28日(火)
 3月10日(土) 卒業生・修了者発表
 3月20日(火) 卒業式・修了式 (学部・大学院・法科大学院合同)
 3月23日(金) } 1~3年生成績表交付
 ~27日(火)

休日に授業・試験等を実施する日
 4月29日(金) (昭和の日) → 授業日
 7月18日(月) (海の日) → 試験日
 9月19日(月) (敬老の日) → 授業日
 9月23日(金) (秋分の日) → 授業日
 10月10日(月) (体育の日) → 授業日

平成 22 年度学年末試験について

告 示

すでに発表されたとおり、来る 1 月 18 日（火）（法科大学院は 1 月 21 日（金））から学年末試験が行われる。受験にあたっては、正々堂々自らの実力を発揮し、日頃の研鑽の成果をあげてほしい。

この際、特に学生諸君に求めたいのは、決して不正行為を行わないという決意と、誘惑をしりぞける勇気である。これまで再三の注意にもかかわらず、不正行為が跡を絶たないのは、誠に悲しむべきことと言わねばならない。諸君は、不正行為が憎むべき裏切り行為であるばかりでなく、おのが人格の完全な否定であることを知るべきである。

大学としては、不正行為に対し、断固たる処分をもって臨む方針である。切に諸君の自戒・自粛を望む。

平成 23 年 1 月

学 長

学年末試験にあたって

本年度学年末試験が 1 月 18 日（火）（法科大学院は 1 月 21 日（金））から始まるが、試験に臨むに当たり、履修要覧「履修について」項目 8（試験について）、法科大学院履修要覧『履修方法等に関する要項』「9. 試験」を再度熟読し、いやしくも本学学生として学長告示に違背することのないよう特に要望する。

万一、不正行為があった場合には、「定期試験における不正行為者への懲戒内規」に基づき、退学や停学及び当該年度の全履修単位を無効とするなどの厳しい処分を行う方針であるから特に自戒を切望する。

平成 23 年 1 月

学生センター所長

平成 22 年度 学年末試験 実施日程・時間など

■ 1 月 18 日（火）～1 月 31 日（月）（法科大学院は 1 月 21 日（金）～2 月 3 日（木））■

1 時 限	9時00分～10時30分	<60分で行う科目>	試験本部は多目的ホール（西 5 号館 1 階）に設ける。 ただし 2 月 1 日（火）～3 日（木）は中央教育研究棟 1 階学生センター教務課に設ける。
2 時 限	10時50分～12時20分	総合基礎科目（外国語科目・体育科目）	
3 時 限	13時10分～14時40分	<90分で行う科目>	
4 時 限	15時00分～16時30分	専門科目・総合基礎科目（外国語科目・体育科目を除く）	
5 時 限	16時50分～18時20分	教職に関する科目・博物館に関する科目	
6 時 限	18時40分～20時10分	<90分または120分で試験を行う授業科目> 法科大学院科目	

学年末試験は上記の期間に実施するが、授業科目によっては、この期間外に実施するものもある。

定期試験の時間割は 1～2 週間前に掲示によって発表する。

※気象に関する警報が発表された場合、および自然災害・ストライキに起因する交通機関の運行停止の場合の措置については、授業と同様の扱いとする（学部・大学院履修要覧「履修について」の「5. 休講について」法科大学院履修要覧「履修方法等に関する要項」の「7. 休講」参照）

◆受験上の注意

- 履修届によって登録された授業科目でなければ受験することは出来ない。
- 試験時間割には、平常の授業と試験の曜日・時限・教室が異なる授業科目等があるので注意すること。
- 受験の際には、必ず学生証を携帯し、試験時間中は写真面を上にして常に机上に呈示しておかなければならない。
- 学生証を携帯しない者は、いかなる事情があっても受験出来ない。学生証を忘失した者に対しては、試験期間中に限り特別に発行する「仮学生証（学内試験用）」（中央教育研究棟 1 階学生センター教務課で発行）を持参、呈示した場合に限り、受験を許可する。
- 試験場における座席は、番号札もしくは本学備付六法の番号によって指定する場合がある。その場合、学生は入室時に必ず番号札もしくは本学備付六法を受け取り、指定された席に座らなければならない。
- 試験教室に入室する際は、必ず携帯電話などの電源を切り、バック等の中にしまわなければならない。帽子・サングラス等も同様、バック等の中にしまうこと。
- 着席後は、私語を慎み、筆記具その他予め許可されたものの以外を机上に置いてはならない。
- 試験教室に入室した後、手洗い等のために一時退室することは一切認められない。
- 試験開始後 20 分以上遅刻した者は受験を認めない。また、試験開始後 30 分を経過するまでは、試験場からの退退を許可しない。

- 解答用紙には、最初にボールペンもしくは万年筆で学籍番号、氏名等所要事項を記入し、退出の際には、教卓、教壇等指示された場所に必ず提出しなければならない。解答を断念した場合も同様である。

- 5 大学間単位互換制度（f-Campus）に基づく他大学提供科目と本学授業科目の試験日時が重複した場合には、他大学提供科目の受験を優先し、本学授業科目の試験については学生センター教務課に相談し、別途指示を受けること。

◆棄権について（法科大学院を除く）

- 受験の途中で棄権する場合は、学部、学科、学年、学籍番号、氏名を正確に記載のうえ、科目担当教員が棄権したことを容易に確認できるように、解答用紙の表側中央に「棄権」と、大きく記載すること。

なお、「棄権」と記載した解答用紙を提出した学生は、当該科目の全ての権利を放棄したものとみなす。したがって、当該科目についての救済措置（成績調査・追試験等）はいかなる場合もこれを行わない。

また、「棄権」した科目の成績評価は行わず、成績表にも記載されない。

◆不正行為について

次の行為はこれを不正行為として学則第 70 条に基づき懲戒を加える。

- 番号札もしくは本学備付六法を交換したり、これに応じたりすること。また、不正使用の目的をもって故意に番号

- 札もしくは本学備付六法を持ち帰ること。
- (2) 持ち込みを許可されていないノート、教科書、参考書等を参照すること。
 - (3) 持ち込みを許可された六法全書、辞書等に不正行為を目的として予め書き込みをすること。
 - (4) 試験時間中にノート、教科書、参考書等を貸借すること。
 - (5) 代理受験を依頼すること、および代理受験をすること。
 - (6) 他人の答案をのぞき見て写したり、写させたりすること。
 - (7) 試験内容に関する私語をすること。
 - (8) 試験監督者の指示に従わないこと。
 - (9) 以上の不正行為に類する行為をすること。

◆追試験について（履修要覧記載の「履修について」内、「9. 追試験について」、法科大学院履修要覧の「履修方法等に関する要項」内、「10. 追試験」参照）

やむをえない事情によって所定の日に試験を受けられなかった者で、所定の期日までに以下に示す詳細な理由を具して願出た者に対し、教授会の議を経て追試験を許可する場合がある。

- (1) 学年末試験追試験対象科目
第2学期終了科目および通年科目
ただし、掲示による事前周知のない試験科目は対象外とする。
- (2) 出願期日 2月3日(木) まで
法科大学院は2月10日(木) まで
- (3) 手続時間は下記のとおり
月～金曜日 8:50～16:00
土曜日 8:50～12:00
日曜日・祝日 閉室
- (4) 受験料は、1科目あたり1,000円である。
- (5) 以下の場合については、受験料を徴収しないこととする。
 - 5大学間単位互換制度に基づき、他大学設置科目の授業・試験を優先させた場合
 - 交通機関遅延の場合（ただし、鉄道に限る）
- (6) 追試験は、必ず評価の対象となり棄権は認められない。
また、追試験の場合は不利な点が多いので、試験期間には健康に充分留意することが肝要である。

各部署からのお知らせ

学生センター教務課

■平成22年度成績表の交付について

平成22年度成績表を次のとおり交付します。

1. 対象者：卒業生・修了生を除く全員
2. 期 間：平成23年3月23日(水)・24日(木)
25日(金) [3日間]
9時～16時30分
(11時20分～12時30分は昼休み)
3. 場 所：西5号館1階多目的ホール

注意事項

1. 必ず学生証を持ってきてください。
2. 卒業生・修了生の成績表は3月20日(日)の卒業式・修了式の際に学位記とともに交付します。
3. 科目等履修生の成績表は3月11日(金)以降、教務課窓口で交付します。
4. 平成23年度シラバス、授業時間割等を配付します。

■保証人宛成績通知書送付について

平成23年3月下旬、保証人宛に成績通知書を送付します。

宛先は入学手続書類に記入していただいた保証人の住所・氏名をデータとして使用しますので、それ以降住所変更などがある場合には、早急に学生センター教務課まで変更内容を届け出てください。

また、発送に際しては、原則としてパソコンで使用できる文字(JIS第2水準まで)を使用するため、住所・氏名の文字の一部が届け出いただいたものとは異なる場合があります。不都合がありましたらご連絡ください。

問い合わせ先：03(3986)0221(代表)
教務課 内線2279・2313

■平成23年3月卒業生(学部)

／修了生(法科大学院・大学院)の証明書交付について

平成23年3月10日に卒業／修了が決定した学生に対して、次の要領で証明書を発行します。

(1) 証明書の種類

成績証明書(和文・英文)、卒業証明書(和文・英文)、
学位取得証明書(和文・英文)※法科大学院・大学院修了生
対象。修了証明書を兼ねる。

(2) 証明書申込(予約)

あらかじめ証明書自動発行機で「予約手続」を行い、発行される予約票を証明書交付時に持参してください。3月22日(火)以降は即日発行できますので、「予約手続」を行い、予約票を教務課に提出してください。

(3) 手数料

和文1通100円
英文1通300円

(4) 発行日程・交付場所

申込(予約)受付日	申込受付時間	交付日	交付場所
3月10日(木)	卒業発表後(10時頃)～16時45分	3月20日(日) 卒業式終了後から14時まで	3月20日(日) →中央棟3階301・302教室
3月11日(金)～19日(土)	月～金 9時～16時45分 土 9時～12時30分	※22日以降も交付しています。	※22日以降は教務課窓口
3月20日(日)	9時～14時	3月22日(火)	教務課窓口
3月22日(火)～31日(木)	月～金 9時～16時45分 土 9時～12時30分	即日	

★卒業追加認定者…3月31日(木)発表後受付開始、即日発行します。

■平成24年3月卒業見込(学部)／修了見込(法科大学院・大学院)学生の証明書の交付について

(1) 証明書の種類

- 成績証明書(和文・英文)
- 卒業見込証明書(和文・英文)【学部用】
- 修了見込証明書(和文・英文)【法科大学院・大学院用】
- 健康診断証明書(和文)

(2) 交付開始

4月7日(木) ※健康診断証明書のみ5月2日(月)

(3) 交付場所

証明書自動発行機より発行します。
月～金：9時～18時
土：9時～12時30分

学生センター学生課

■「教育ローン金利助成奨学金」の募集について

本学が指定する金融機関より学費納付を目的として教育ローンを借用した場合、家計負担軽減を目的として在学中に支払った金利の一部を申請により給付します。

概要は以下のとおりです。詳細については学生課にお問い合わせください。

1. 対象者

学費納付のため教育ローンを利用し、かつ、今年度（平成22年度）金利を支払っている者。

2. 指定金融機関

「教育ローン」を商品として扱っている金融機関

3. 奨学金額（5万円を上限として給付）

学費を上限とする借入金額に2%を上限とする金利を乗じた金額又は、支払った金利のどちらか低い金額。

4. 手続き

平成23年1月11日（火）以降、学生課窓口で申請書類を受け取り、①所定申請書、②振込口座届、③金利支払いを証明する書類を平成23年1月28日（金）までに学生課窓口提出してください。

5. 奨学金の交付

申請内容を審査の上、適格者に対しては平成23年3月31日（木）までに指定口座に振込みます。

■平成23年度日本学生支援機構奨学金・学習院大学奨学金新規募集説明会（定期採用）の開催について

日本学生支援機構奨学金および学習院大学奨学金の新規募集説明会を次のとおり行います。平成23年度から新たに奨学金を希望する学生は、必ず説明会に出席のうえ申請資格の有無を自己判定するとともに、今後の手続日程を確認してください。

1. 開催時期・会場

学部新2年生以上

■ 開催日：平成23年4月8日（金）

■ 会 場：未定*

大学院生・法科大学院生

■ 開催日：平成23年4月8日（金）

■ 会 場：未定*

*各説明会の時間・会場等詳細は、決定次第、奨学金掲示板および学生課HPにてお知らせしますので、ご確認願います。

2. 奨学金出願資格

奨学金には、家計及び学力基準といった「申請資格」（詳細は説明会にて周知）を**設定**しています。また、採用枠という制約があるので、申請資格を満たしていても必ず採用されるとは限りません。

学芸員資格取得事務室

●平成22年度「博物館学芸員資格取得者」の発表

平成22年度の博物館学芸員資格取得者の発表は平成23年3月10日頃に掲示にて発表いたします。

●「博物館学芸員資格取得証明書」の交付

平成22年度に博物館学芸員資格を取得した者に対して、「博物館学芸員資格取得証明書」を下記のとおり交付します。

日 時 平成23年3月20日（日）

午前10時～午後2時まで

場 所 学芸員資格取得事務室（史料館内）

■ 大学院生、科目等履修生についても3月20日以降に学芸員資格取得事務室において交付します。資格取得者は、必ず年度内に受け取りに来ること。

※他大学で一部単位を取得した人についても、科目履修登録の際に必要な書類をすべて提出した人には交付します。

■ 当日、博物館実習記録を返却いたします。

■入学試験時の入構規制について

平成23年度入学試験が、平成23年2月6日（日）～9日（水）まで実施されます。みなさんのご協力をお願いします。

【学内入構禁止日時】

2月6日（日）午前6時～2月10日（木）午前6時

※一般学生の入構はできません。

※ただし、入構許可証またはリボンを交付された下記学生は入構が許可されます。

【入構許可証発行またはリボン配付対象者】

● 監督補助員 ● 案内誘導係 ● 馬術部

※大学院生・法科大学院生及び理学部学生で、事前申請を行い許可された学生は、正門で記帳のうえ、指定リボンを着用することで入構できます。

【入構規制中の事務取扱い】

事務取扱いは行いません。図書の返却やレポート提出もできませんので注意してください。

国際交流センター

■国際交流センターホームページのご案内

国際交流センターからの各種募集案内や行事等の情報は、ホームページ新着情報を通じて随時お伝えしています。

URLは、

パソコン：<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/index.html>

携 帯：<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/keitai.html>

（携帯は閉室情報、留学生、ボランティア関連情報のみ）です。

また、パソコンのサイトでは、留学した先輩や本学で学んでいる留学生からのメッセージを動画で見ることができますので、ぜひご覧ください。

なお、国際交流に関する情報は、学外からのものを含め、国際交流センター（中央教育研究棟2階）外にある掲示板を通してもお知らせしています。

■学習院大学海外留学奨学金、奨励金について

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、少しでも多くの学生に留学を経験してもらうことを目的として、「学習院大学海外留学奨学金、奨励金」を設けています。

出 願 条 件：教授会（院生は研究科委員会）で留学が許可されているか、もしくは海外の大学等へ出願中の学生

奨 学 金 額：1名あたり50万円（返還の義務なし）
特に優秀な学生に、奨励金10万円以内を重ねて支給

採用予定数：年間20名（奨励金対象者10名を含む）

出願・選考：年2回（6月、12月）

財 務 部

■平成 23 年度学費納入について

平成 23 年度第 1 期分の学費納付金振込依頼書（振込用紙）の発送予定および納付期限は、下記のとおりです。納入について不明な点などございましたら、会計課までお早めにご相談ください。

- 発送時期 平成 23 年 4 月中旬
- 納付期限 平成 23 年 5 月 2 日（月）

◎必ず送付された振込用紙にて納付してください。

◎年額を納付することもできます。（第 1 期分のみの振込依頼書と年額分の振込依頼書を送付いたします。）

◎住所変更をされた方は学生センター教務課へ届け出てください。

学 費 一 覧 表

（単位 円）

区 分		項 目	入学年度	合 計	分納額・分納期		授 業 料		※ 維持費	※ 父母会費	※ 輔仁会費	※ 新聞代	※ 学会費		
					第 1 期	第 2 期	※第 1 期	第 2 期						計	
大 学	法学部	H14～H18	871,300	566,300	305,000	305,000	305,000	610,000	246,000	5,000	6,300	500	3,500		
		H19	911,300	592,300	319,000	319,000	319,000	638,000	258,000	5,000	6,300	500	3,500		
		H20～H22	951,300	618,300	333,000	333,000	333,000	666,000	270,000	5,000	6,300	500	3,500		
		経済学部	H15～H18	867,800	562,800	305,000	305,000	305,000	610,000	246,000	5,000	6,300	500	—	
			H19	907,800	588,800	319,000	319,000	319,000	638,000	258,000	5,000	6,300	500	—	
			H20～H22	947,800	614,800	333,000	333,000	333,000	666,000	270,000	5,000	6,300	500	—	
	文学部	心理学科以外	H15～H18	944,800	599,800	345,000	345,000	690,000	240,000	5,000	6,300	500	3,000		
			H19	984,800	624,800	360,000	360,000	720,000	250,000	5,000	6,300	500	3,000		
			H20～H22	1,024,800	649,800	375,000	375,000	750,000	260,000	5,000	6,300	500	3,000		
		心理学科	H17～H18	974,800	629,800	345,000	※ 30,000 375,000	345,000	※ 30,000 720,000	240,000	5,000	6,300	500	3,000	
			H19	1,014,800	654,800	360,000	※ 30,000 390,000	360,000	※ 30,000 750,000	250,000	5,000	6,300	500	3,000	
			H20～H22	1,054,800	679,800	375,000	※ 30,000 405,000	375,000	※ 30,000 780,000	260,000	5,000	6,300	500	3,000	
	理学部	物理学科 化学科 生命科学科	H13～H18	1,315,800	845,800	470,000	※ 80,000 550,000	470,000	※ 80,000 1,020,000	284,000	5,000	6,300	500	—	
			H19	1,365,800	876,800	489,000	※ 80,000 569,000	489,000	※ 80,000 1,058,000	296,000	5,000	6,300	500	—	
			H20	1,415,800	907,800	508,000	※ 80,000 588,000	508,000	※ 80,000 1,096,000	308,000	5,000	6,300	500	—	
			H21～H22	1,465,800	938,800	527,000	※ 80,000 607,000	527,000	※ 80,000 1,134,000	320,000	5,000	6,300	500	—	
		数学科	H16～H18	1,235,800	765,800	470,000	470,000	470,000	940,000	284,000	5,000	6,300	500	—	
			H19	1,285,800	796,800	489,000	489,000	489,000	978,000	296,000	5,000	6,300	500	—	
			H20	1,335,800	827,800	508,000	508,000	508,000	1,016,000	308,000	5,000	6,300	500	—	
			H21～H22	1,385,800	858,800	527,000	527,000	527,000	1,054,000	320,000	5,000	6,300	500	—	
大学院	博士前期課程	政治学	H19	670,700	430,700	240,000	240,000	480,000	186,000	—	1,200	—	3,500		
			H20～H22	710,700	456,700	254,000	254,000	508,000	198,000	—	1,200	—	3,500		
		経済学・経営学	H20～H22	707,200	453,200	254,000	254,000	508,000	198,000	—	1,200	—	—		
		人文学	心理学臨床	H18～H19	664,200	424,200	240,000	240,000	480,000	180,000	—	1,200	—	3,000	
			心理学以外	H20～H22	704,200	449,200	255,000	255,000	510,000	190,000	—	1,200	—	3,000	
		心理学臨床	H21～H22	734,200	479,200	255,000	※ 30,000 285,000	255,000	※ 30,000 540,000	190,000	—	1,200	—	3,000	
			自然科学	実 験	H19	905,200	580,200	325,000	※ 70,000 395,000	325,000	※ 70,000 720,000	184,000	—	1,200	—
		H20～H22		955,200	611,200	344,000	※ 70,000 414,000	344,000	※ 70,000 758,000	196,000	—	1,200	—	—	
		理 論	H21～H22	885,200	541,200	344,000	344,000	344,000	688,000	196,000	—	1,200	—	—	
		博士後期課程	法学・政治学	H16～H22	670,700	430,700	240,000	240,000	240,000	480,000	186,000	—	1,200	—	3,500
	経済学・経営学		H16～H22	667,200	427,200	240,000	240,000	240,000	480,000	186,000	—	1,200	—	—	
	人文学		心理学以外	H16～H22	664,200	424,200	240,000	240,000	240,000	480,000	180,000	—	1,200	—	3,000
心理学			H19～H22	694,200	454,200	240,000	※ 30,000 270,000	240,000	※ 30,000 510,000	180,000	—	1,200	—	3,000	
自然科学	実 験		H20～H22	905,200	580,200	325,000	※ 70,000 395,000	325,000	※ 70,000 720,000	184,000	—	1,200	—	—	
	理 論		H20～H22	835,200	510,200	325,000	325,000	325,000	650,000	184,000	—	1,200	—	—	
専門職大学院	法務研究科	H19～H22	1,301,200	744,200	557,000	557,000	557,000	1,114,000	186,000	—	1,200	—	—		

※は、第 1 期徴収分です。

*は、研究実験費であり、授業料に含みます。

大学生については、上記納付金のほかに、桜友会基本会費（永年同窓会費：徴収は 1 回のみ）35,000 円を入学後 3 年目の学費第 1 期分にて徴収いたします。ただし、進学者、編入学者、再入学者、外国人学生特別入試入学者については、桜友会が入学手続後または在学中に徴収いたします。桜友会基本会費に関するお問い合わせは、桜友会事務局にご照会願います。

桜友会事務局 03-3988-3288 学習院目白キャンパス内

外国語教育研究センター

■英語能力試験（TOEIC-IP）の実施について

本学の英語教育をさらに充実させるため、以下の通り英語能力試験（TOEIC-IP）を実施いたします。今回の試験結果によって皆さんの現在の英語力およびこれまでの学習の成果等を知ることができますので、忘れずに受験し、その結果を今後の英語学習にご活用ください。

- **対 象** 2年生（平成21年度入学者）および3年生以上の平成21年度インテンスヴ・コース合格者
- **実施日時** 平成23年2月1日（火）12：30～15：40
- **試験会場** 試験会場は変更される可能性がありますので、詳細につきましては、外国語教育研究センター掲示板（北1号館西側掲示場）にてご確認ください。

▼ 2年生

法 学 部	法	西5-201	政	西5-B1
経済学部	済	西2-201	営	西2-401、402
文 学 部	哲	西2-501	史	中央-302
	日	中央-301	英	西2-302
	独	中央-303	仏	西1-307、308
	心	西2-301		
理 学 部	物	西2-305	化	西2-403
	数	西5-302	生	西5-301

平成21年度インテンスヴ・コース合格者 西2-405

▼ その他の受験希望者

1年生、3年生、4年生、大学院生

（ただし、法科大学院生を除く）※ 西5-303

※上記の学生で、受験を希望する者は、外国語教育研究センター窓口にて申込をしてください。

（受験料1千円、先着100名迄、申込日：12月2日～12月24日）

【問い合わせ先】 外国語教育研究センター〔中央教育研究棟 6 階〕
月～金曜日／9：00～11：30、12：30～16：30
土曜日／9：00～12：00
HP／<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/fltrc/index.html>

TOEIC の試験前にあなたの英語の実力を測ってみませんか

インターネットでできる

英語コミュニケーション能力テスト CASEC

CASEC は最新のテスト理論に基づいた高い判定精度をもつテストで、英語のコミュニケーション能力を短い試験時間（平均 40 分程度）で測定し、その場で TOEIC のスコアや英検の目安がわかります。このテストは学内だけでなく学外からも受験可能で、**無料**で利用できます。

詳細は外国語教育研究センターのウェブサイトアクセスし、指示に従って受験してください。

インターネットで英語が無料で学習できます

マルチメディア型英語教材「ALC NetAcademy 2」

外国語教育研究センターでは、インターネットで英語が学習できるシステム「ALC NetAcademy 2」を導入しています。コンピュータからサーバにある教材にアクセスし、スピードを変えてのリスニングや英文の表示速度を変えてのリーディングなどが可能です。新傾向の TOEIC に対応した問題演習も多く用意されています。現在は学内はもちろんのこと、**自宅など学外からもアクセス**できるようになっていますので、TOEIC の受験準備としてもぜひ活用してください。なお、利用は無料です。

詳しくは外国語教育研究センターのウェブサイトにある説明をご覧ください。

キャリアセンター

《4年生・博士前期課程2年生へ》……………

- 「**就路（就職・進学・その他）決定届**」、「**就職活動報告書**」、「**就職活動についてのアンケート**」の提出

- 「**就路決定届**」は**全員提出が義務づけられています**。

就職内定または**就職以外の進路が決定している方で上記の届を未だ提出していない方は至急提出してください**。キャリアセンターHPから入力送信、または、キャリアセンターカウンターに設置してある用紙に記入しても提出できます。未提出の場合には、企業人事部等からキャリアセンターへ、内定確認及びその他の照会の依頼があっても、正確に答えることができません。また、未提出は、内定後のトラブルに繋がりがかねませんので注意してください。

- 「**就職活動報告書**」「**就職活動についてのアンケート**」は**就職内定者に任意で提出をお願いしています**。

就職が内定した方は、「活動報告書」及び「就職活動についてのアンケート」の提出にもぜひ協力をお願いします。

- 就職希望者で就職が内定していない学生へ**

4年生等の就職希望者でまだ内定を得ていない学生は、速やかにキャリアセンターに相談に来てください。担当の職員が個別に相談のり、企業等の紹介を行っています。積極的に利用してください。

《3年生へ》……………

- 学内企業説明会 開催**

○開催日：2月14日（月）～22日（火）（除く土日および指定日）
場所・時間等詳細は別途掲示をご覧ください。また内容に変更が生じた場合も随時掲示にてお知らせいたしますのでご確認ください。約200の企業の説明会が学内で開催され、企業担当者の生の声を聞くことが出来る大変有用な機会です。積極的に参加してください。

◆ キャリアセンター資料室の活用 ◆

キャリアセンター資料室は、西5号館4階キャリアセンター事務室に隣接しています。ここには、PC・AVコーナーがあり、就職やキャリアに関する資料・書籍・雑誌等（公務員受験関係の資料も含む）が閲覧できます。ぜひご利用ください。

なお、キャリアセンター資料室の開室時間は、以下の通りです。

平 日 8：40～16：30

土曜日 8：40～12：00

〈HP〉http://www.gakushuin.ac.jp/univ/adm/place/index_main.html

計算機センター

■計算機センター実習室 学年末休講中の予定について

【閉室日】日曜日・祝日 および入試期間（2/6～2/9）

【開室日】日曜日・祝日、入試期間以外は平常通り

月～金曜日 9：00～18：00

土曜日 9：00～14：00

■卒業予定者へのお知らせ

3月に卒業する学生は、年度末をもって計算機センターの利用が出来なくなります。必要なファイルなどのデータは3月31日までに各自で持ち帰ってください。メールアドレスも抹消されますので、必要に応じて関係者に連絡しましょう。

重要

生涯学習センター 2011年度 資格・語学・スキルアップ講座、教養講座のご案内

センターでは、本学学生、卒業生、ご父母、地域住民の方を含め、広く一般の皆さんを対象とした、資格試験対策講座や教養講座を開設しています。

■自分の“付加価値”を高めよう！

近年の就職市場は、学生にとって非常に厳しいものとなっています。今後、有名企業や人気の業界・職種では、これまで以上に厳選採用となることが予想され、採用試験においては、個人の能力や仕事に対する意識・意欲などが厳しく問われます。また、即戦力を求める企業は多く、大学生が職務経験のある社会人と同じ土俵で採用試験に臨むケースもあります。自分の能力や意欲の裏付けとなる資格を取ったり、英語や文章力などのスキルを磨いたりする学生が多いのは、そうした流れを敏感に感じ取っているからでしょう。大学在学中の今こそ、自由な時間を効果的に使い、自分の“付加価値”を高める最大のチャンスです！

■質の高い資格試験・語学・スキルアップ講座を開設

生涯学習センターでは、将来に向け努力する学生やスキルアップを目指すビジネスパーソンを支援するため、民間の資格専門学校や語学学校と提携し、資格・検定試験対策講座、英語試験対策講座、スキルアップ講座を開設しています。経験豊富な講師陣が、効率的に学習できる教材を用いて、質の高い授業を提供しており、例年高い成果を上げています。

2011年度春期（夏期）開設予定 資格・検定・キャリアアップ講座一覧

※春期講座の詳細は、2月下旬に完成する総合パンフレットをご確認ください。

講座名	開講期間（予定）	本試験日
☆宅建主任者総合講座	5月中旬～10月中旬	10月中旬
☆総合・国内旅行業務取扱管理者講座	5月中旬～10月上旬	9・10月上旬
☆2級ファイナンシャル・プランニング技能検定（AFP）講座	6月中旬～1月中旬	1月下旬
☆行政書士総合講座	5月中旬～11月上旬	11月上旬
★秘書検定準1級・2級講座	5月中旬～6月下旬	6月下旬
☆初学者向け日商簿記2級ストレート講座	5月中旬～11月中旬	11月中旬
★証券外務員二種資格試験対策講座	5月中旬～7月下旬	随時
☆貿易実務講座	5月中旬～7月上旬	7月上旬
☆医療事務講座（診療報酬請求事務能力認定試験対応）	5月中旬～7月中旬	7月中旬
★夏期集中 ホームヘルパー2級講座	8月中旬～8月下旬	（無試験）
TOEIC®スコアアップ講座	5月中旬～7月中旬	7月下旬
TOEIC®講座600点達成コース	5月中旬～7月中旬	7月下旬
Success TOEIC®730突破！	5月中旬～7月中旬	7月下旬
夏期集中 TOEIC®Workshop600	8月上旬～8月中旬	8月中旬
夏期集中 TOEIC®Workshop700	8月上旬～8月中旬	8月中旬
はじめてのTOEFL®テスト対策講座	5月下旬～7月上旬	随時
夏期集中 TOEFL®テスト対策講座（初級）	8月上旬～8月中旬	随時
大学生のための自己分析とキャリアプラン（夏期）	8月上旬	——
大学生のためのプレゼンテーション集中講座（夏期）	8月上旬	——
就職力アップのための文章講座（夏期）	7月中旬～8月中旬	——

「☆」在学生受講料給付制度対象講座（予定） 「★」在学生割引受講料設定講座（予定）

■経済的負担軽減を強力にバックアップ

外部機関と比べ、割安な受講料を設定し、受講生の経済的負担軽減をバックアップ。さらに、資格講座では、本学の現役学生の皆さんを対象とした「在学生受講料給付制度」（全講座の80%以上の出席により、受講料の20%程度を還付）等もあり、断然お得な価格設定となっています。また、残念ながら試験に合格できなかった方のため、減額された受講料で2度目の受講ができる「再チャレンジ制度」（対象指定講座有）もあります。そして、全ての講座が目白キャンパス内で開催されるため、移動の必要がなく、利便性も抜群です。

■募集要項・講座ガイダンス情報を入手

センターでは、今後もニーズの高い講座を積極的に取り上げていく予定です。就活やキャリアアップの一つの手段として、積極的に活用してください。

左下の表は、2011年度に開講を予定している資格・英語・スキルアップ講座です。各講座の日程等詳細は、3月上旬から西5号館学生ホール入口スタンド等に設置する募集要項、資料等でご確認ください。また、各講座の概要や資格取得の効用等を分りやすく説明するガイダンスを実施します。開催日時や会場等は、4月中旬以降、学内のポスターや立看板などで告知します。

卒業生・社会人の方は、下記センターまで講座パンフレットをご請求ください。

■多種多様な一般教養・趣味講座を展開

その他、主に社会人の方を対象とした一般教養講座を開設しています。文学、歴史、芸術、古典芸能、語学、趣味から子育てまで、多様なプログラムを用意して、ご父母や卒業生の皆様をお待ちしています。ぜひ、学校まで足をお運びください。

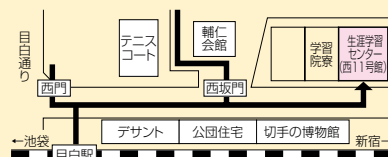
春期講座の詳細は、2月下旬に完成する総合パンフレットをご覧ください。過去1年以内にご請求をいただいている方には、出来上がり次第お送りします。新規にご希望の方は、下記までお気軽にご連絡ください。

◆お問い合わせ・連絡先：学習院生涯学習センター

Tel 03(5992)1040 Fax 03(5992)1124

E-mail : shogaigakushu@gakushuin.ac.jp

URL : http://open.gakushuin.ac.jp/



施設部

■輔仁会館冬季貸出に関するお知らせ

例年、冬季期間中の輔仁会館の貸出については、例外的な対応となります。本年度につきましては、右記の要領にて貸出・予約受付を行ないますので、ご確認ください。

4月上旬の『新入生歓迎期間』と、『オール学習院の集い 4月16日(土)・17日(日)』については貸出を行いません。なお、学校行事等により右記貸出期間中においても、貸出を行わない場合があります。詳細につきましては、別途お知らせいたします。

●平成23年1月～3月

貸出対象日	貸出時間	申込受付要領
1月8日(土)～1月20日(木)	通常通り	通常通り(貸出日の1ヶ月前より予約受付開始)
1月21日(金)～1月31日(月)	通常通り	1月8日(土)より予約受付開始
2月1日(火)～2月28日(月)	貸出なし(入試・工事等のため)	
3月1日(火)～3月17日(木)	平日16:30迄 土曜12:30迄 日祝貸出なし	◆3/1(火)～5(土)…1/26(水)より予約受付開始 ◆3/7(月)～12(土)…1/27(木)より予約受付開始 ◆3/14(月)～17(木)…1/28(金)より予約受付開始
3月18日(金)～3月21日(月)	貸出なし(卒業式衣装レンタル・着付け会場として使用等のため)	
3月22日(火)～3月31日(木)	平日16:30迄 土曜12:30迄 日祝貸出なし	◆3/22(火)～26(土)…1/29(土)より予約受付開始 ◆3/28(月)～31(木)…1/31(月)より予約受付開始

保健センター だより

平成23年度定期健康診断実施について

定期健康診断を表の日程により実施します。年に一度は健康チェックをしましょう。

注 意 事 項

- 各自持参のTシャツを着用してください。無地であれば色は問いません。(刺しゅう、プリントなど飾りのないもの)
- ネックレス、口紅、マニキュアなどは遠慮してください。
- 頭頂部でまとめた髪型は、身長測定ができませんのでご注意ください。
- メガネ、コンタクトレンズ使用者は、矯正視力を測定します。
- 受診中は携帯電話の電源を切ってください。電磁波の影響により検査機器が誤作動することがあります。
- 健康診断で、再検査が必要な方には、封書等でご連絡します。
- 健康診断の結果は、5月末までに受診者全員に通知します。
- 健診期間中、指定された日時に受けられない場合は他の日時に受けてください。
- 健康診断を受けていない場合や、学年で指示された項目を受けなかったときは、健康診断証明書の発行はできませんので、ご注意ください。
- スポーツ・健康科学Ⅲ b 野外コース(キャンプ・サイクリング・ゴルフ・トレッキング・スキー)履修者は、集中授業直前に健康診断(スポーツ健診)を実施しますが、原則として4月の定期健康診断を受けていることが前提となります。
- 健康診断中の貴重品管理は、個人の責任のもとに行ってください。

●●平成23年度定期健康診断実施日程●●

日 程	4/1(金)	4/2(土)	4/4(月)	4/5(火)	4/6(水)	4/7(木)
	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子	男 子
対 象 学 生	4年生全員 3年生(法・経)	4年生全員 3年生(法・経)	2年生全員 3年生(文・理) 〔9:00 法・哲・史 10:00 日・物・化・数・生 11:00 営 13:00 英・独 14:00 政・済・仏 15:00 心〕	1年生 大学院生 専門職大学院 法務研修生 研究生 (法科大学院)含	1年生 大学院生 専門職大学院 法務研修生 研究生 (法科大学院)含	2年生全員 3年生(文・理)
	※編入学生、再入学生、転部・転科生は、該当学年で受けてください。 ※学年指定日に受けられない場合は、健診期間中、他学年の日時に受けてください。 ※4/4(月)2・3年生女子：混雑緩和のため、学科ごとに時間を区切らせていただきます。					
時 間	受付 ●午前9時～11時30分 午後1時～3時30分					
順 序	①西5号館B1教室集合 ②受付で学生証提示 ③更衣→1F学生ホールへ ④1F学生ホール→下記の諸検査を受ける			新入学生(学部1年生) 西5号館201・202・303教室にてガイダンス (新入学生行事日程表参照)		
項 目	【4年生・大学院生・専門職大学院】身長・体重・視力・血圧・胸部X線・内科診察(簡易聴力) 【2・3年生】身長・体重・血圧・胸部X線・内科診察 【1年生】身長・体重・血圧・胸部X線・尿検査・内科診察(簡易聴力) 【編入学生、再入学生、転部・転科生】当該学年の項目を受けてください。 ※内科診察時、医師から指示があった場合のみ心電図検査があります。					
摘 要	※健康診断を受けるには学生証が必要になります。必ず携帯してください。 ※ホームページのキャンパスライフの「健康管理」でも案内しています。					

学長室保健センター ☎ 03-5992-1258



図書館だより

図書館の取り組み ～館内リニューアル～

使いやすい図書館を目指して、館内では日々様々な取り組みを行っています。
ここでは今年度に図書館で大きくリニューアルを行った事例をご紹介します。

【理学部図書室リニューアル】

* 理学部図書室

夏季休業中に行われた南4号館耐震・改修工事の一環で、理学部図書室がリニューアルしました。また、昨年度、生命科学学科が新設されたことに伴い、南4号館1階に「理学部共同書庫」ができました。リニューアル後、利用者の方々からは、「あれっ？理図書がきれいになった！」と好評です。

「理学部図書室（物・化・生）」では、グループ閲覧席、大型本書架を新設しました。近年、自然科学分野は、冊子体雑誌から電子ジャーナル（以下EJ）への移行が著しく進み、理学部図書室も、EJの購入タイトル数が急増しています。グループ閲覧席の机には、将来EJ閲覧等でパソコンのネットワーク利用ができるようLANポートをつけました。新しくできた「理学部共同書庫」には、EJ可読範囲の製本雑誌を保管しています。また、冊子体購読雑誌が減少していることから、新着雑誌書架の一部を撤去し、大型本等が収納できる本製書架を新設しました。

「理学部図書室（数学）」では、壁面書架、ソファタイプの長椅子を新設しました。他の

自然科学分野に比べると、数学分野は、EJよりも従来の冊子体雑誌、特に図書の需要が高いのが特徴です。今後の図書の増加を踏まえ、資料収容力を上げるため、壁面書架を新設しました。また、新着雑誌コーナーに、リラックスしながら資料を閲覧できるようソファタイプの長椅子を新設しました。

そして、2室ともに、図書室設置当初より使われてきた閲覧席の椅子を一新し、さらに資料保存対策のための除湿機を設置しました。より快適な図書室利用を目指し、環境整備を図りましたので、まだいらしていない方は、ぜひご利用ください！



【セミナールーム新設・第1コンピュータ利用閲覧室リニューアル】

* 大学図書館

東1号館1階にセミナールームを新設しました。今後大学図書館が開催するセミナーの会場として使用します（一部別会場の場合あり・セミナー開催時のみ開室）。PCを完備しているので、データベースなどの検索実習も対応可能です。

第1コンピュータ利用閲覧室は机・椅子を一新。円形の机には仕切りがついているので、個人で集中して調べものやレポートを作成したいときにおすすめ。グループワークには奥の6人掛け机が便利です。プリンタがフロア内に設置されているので、印刷もできます。用途や好みにあわせて、使い分けてください！

【6階辞書コーナー・リニューアル】

* 法経図書センター

旧・KRコーナーが「辞書コーナー」に生まれ変わりました。内容を見直し、法経図書センターでの学習によく利用される六法や辞書類を厳選しました。場所は5階から階段を上がってすぐ左手。たいへんアクセスしやすい環境です。開架フロアでの勉強中に、ぜひご利用ください。

このほか、5階の「参考図書コーナー」には約6,400冊の辞書、事典、白書、年鑑類があります。より専門的な調べものをするには、こちらをご利用ください。



5階には白書も多く揃っています

◆ 展示コーナー 初の学生による企画 ◆

* 大学図書館

大学図書館へ入館すると、正面にガラスケースがあるのをご存知ですか？ここでは、2ヶ月毎にテーマを設定して、大学図書館の蔵書を展示しています。これまでは図書館員のみが担当していましたが、今年度初めて、公募に応じた学生4人がテーマ設定・資料選び・パンフレット作成・ディスプレイ等全般を担当する回を設けました。テーマは「卒業までに読みたい“恋愛”の本」。学生たちの熱心な取り組みの結果、パンフレットは歴代最高の発行部数を記録。大好評のため展示期間を延長しました。学生による展示は終了しましたが、パンフレットは大学図書館ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。



大学図書館ホームページ「1F 展示資料紹介」

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/collection/display.html>

お知らせ

* 法経図書センター

春休み期間の7階縮小のお知らせ

2011年2月1日（火）～3月31日（木）は、省エネ対策のため、**7階はグループ学習室のみの利用**となります。資料閲覧や学習には、3階～6階閲覧席をご利用ください。

◆平成22年度 修了式・卒業式の日程について◆

平成23年3月20日(日)

午前9時30分	● 人文科学研究科 ● 自然科学研究科 ● 文学部 ● 理学部
午前11時30分	● 法学研究科 ● 政治学研究科 ● 経済学研究科 ● 経営学研究科 ● 法務研究科(法科大学院) ● 法学部 ● 経済学部

◆平成23年度 入学式の日程について◆

平成23年4月8日(金)

入 学 式 午前9時30分 VTR放映による 父母保証人への大学案内 午前10時20分 (内容)常務理事・父母会長・校友会長・学生センター所長・キャリアセンター部長からのご挨拶等	● 法学研究科 ● 政治学研究科 ● 経済学研究科 ● 経営学研究科 ● 法務研究科(法科大学院) ● 法学部 ● 経済学部
入 学 式 午後1時00分 VTR放映による 父母保証人への大学案内 午後1時50分 (内容)常務理事・父母会長・校友会長・学生センター所長・キャリアセンター部長からのご挨拶等	● 人文科学研究科 ● 自然科学研究科 ● 文学部 ● 理学部

● 父母保証人の皆さまには、入学式の模様をモニターの中継により教室にてご覧いただきます。

課外活動レポート

学習院大学新聞社

皆さん、こんにちは！私たち学習院大学新聞社は、学内新聞を発行しています。年に8回、1回に5000部ほど発行しています。刷り上がった新聞は、学生ホールなどのラックに置き、

発行日から3日間は西門付近で配っています。

まず、紙面の構成をご紹介します。紙面は4面構成になっています。1面に学内情報を掲載しています。ここで、大学内のホットなニュースを得ることができます。2面、3面は特集面です。今まで、前者ではボランティアや国民年金、後者ではカラオケやチョコレートなどを特集してきました。どちらも企画から取材、インタビューに至るまで、全て学生で行っています。4面はスポーツ記事。本学の運動部の活躍をカッコよく伝えられるように、記事だけでなく、写真にもこだわっています。他にも、新入生歓迎号ではOBインタビューを掲載したり、四大戦号や学祭号を発行したりと、学生生活に密着した新聞作りを行っています。

また、私たちの活動は学内新聞に留まりません。産経新聞社から創刊された産経EXの「キャンパス新聞」というページに、OBを含めたチームで定期的に執筆活動を行っています。実際に新聞を発行しているプロと関わり、刺激を受けながら活動しています。さらに、消防署の方々に取材協力していただいた5月号の「AED特集」が評価され、豊島消防所長から感謝状を授与されました。自分たちが携わったことが、様々な所で広がりを持っていくことに、喜びを感じています。

私たちが目指すのは、読み手を意識した新聞作りです。どんなに内容が豊富でも、それが学内関係者の方々にとって有意義なもの、興味深いものでなければ意味がありません。読む人の立場に立って、記事を書いていくこと。その過程から、相手の考えを汲み取る力が蓄えられていき、それは将来どのような場面でも応用できると私は考えます。部員たちが新聞の活動を通して、色々な面で成長してくれるといいな、と思います。部員一丸となって切磋琢磨しながら作りあげた新聞を、これからもご購入いただけると嬉しいです！

編集長／文学部心理学科2年 加藤絵梨香



学生相談室

学年末休講・春季休業中の開室日
および開室時間について

【開室日】

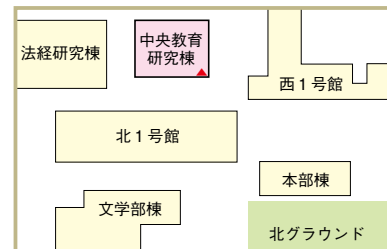
下記の閉室日を除き、平常通りに開室しています。

【閉室日】

- ・日曜・祭日 ただし3月20日(日)卒業式は開室
- ・入試期間2月6日(日)～2月9日(水)

【開室時間】

- ・月～金曜日 9:30～17:00
- ・土曜日 9:30～12:30



* 図書の貸出等も通常通り

【予約・問い合わせ】

Tel 03-3986-0221 内線 2514

* ご相談は来室された時になるべく応じるようにしておりますが、予約状況によってはお待ちさせていただきます。希望のお時間に確実に相談を受けたい方は、事前に電話にて予約されることをおすすめします。

※次号の発行は4月になります。

学習院大学通信

COMPASS 第48号

2011年1月11日発行

◆編集発行◆

学習院大学学生センター学生課

東京都豊島区目白1-5-1